



ねんりんピック静岡2006

「ふれあいでよう ふじのくにから 健康賛歌」

焼津市で太極拳交流大会が盛大に

静岡県Bチームが優勝 準優勝は神奈川県 3位に横浜市

60歳以上のシニア世代が対象の「第19回全国健康福祉祭静岡大会」(ねんりんピックしずおか2006)が10月28日から31日までの4日間、静岡県内18市町村で開催され、各種のスポーツ交流大会や文化イベントが行なわれた。太極拳は「ふれあいスポーツ」の正式種目として、29日、焼津市総合体育館(シーガルドーム)で交流大会を開催した。

45都道府県・14政令都市から
59チーム・398選手が出場して

ねんりんピック静岡「太極拳交流大会」は

静岡県連盟(関元三郎会長)の主管、日本連盟の後援。大会には45の都道府県と14の政令都市の代表59チーム・男女計398人の選手が出場した。大会には選手のほか役員・スタッフ・関係者1600人と一般観客4000人が参加して総勢6000人という大イベントになった。大会種目は24式太極拳の集団競技。1チームは男女の別を問わず6~7人の編成。

大会開始式では地元「やきつべ太鼓」の勇壮な太鼓に迎えられて選手が入場。開会宣言、大会会長の戸本隆雄焼津市長、関元三郎静岡県連盟会長らのあいさつに続いて、大会総審



静岡県連盟会員らによる集団功夫扇演武



競技の様相（静岡県Y ゆりかもめチーム）

判長の友正慧・日本連盟理事が競技ルールと諸注意などを説明した。

開始式に続いて競技に入り、競技の合間には、こども合唱団、鼓笛隊、二胡演奏など全国から参加した選手たちを歓迎する各種アトラクションが行われた。また静岡市の全日本選手権大会出場者8人による剣の演武、静岡

ねんりんピック静岡大会武術太極拳交流大会成績

（1位優勝，2位準優勝，4位から10位は優秀賞）

順位	チーム名	得点	順位	チーム名	得点
1	静岡県B	9.18	6	茨城県	9.00
2	神奈川県	9.18	7	大阪市	8.98
3	横浜市	9.15	8	栃木県	8.96
4	兵庫県	9.10	9	静岡県A	8.91
5	静岡市A	9.00	10	大阪府	8.88

上記以外の成績

11 千葉県	12 北海道	13 名古屋市	14 さいたま市
15 群馬県	16 愛知県	17 岡山県	18 福岡県
19 埼玉県	20 山梨県	21 奈良県	22 静岡市B
23 岩手県	24 静岡県Y	25 福岡市	26 福島県
27 神戸市	28 広島市	29 札幌市	30 宮崎県
31 鹿児島県	32 岐阜県	33 長野県	34 佐賀県
35 秋田県	36 石川県	37 長崎県	38 富山県
39 仙台市	40 熊本県	41 京都府	42 京都市
43 東京都	44 広島県	45 徳島県	46 川崎市
47 三重県	48 青森県	49 新潟県	50 香川県
51 高知県	52 滋賀県	53 山口県	54 宮城県
55 福井県	56 北九州市	57 愛媛県	58 島根県
59 山形県	（5人で演武のため得点表示なし）		

県連盟会員ら144人の集団功夫扇演武，200人以上の集団太極拳演武なども行われ，会場から大きな拍手と歓声が寄せられた。

特別演武として，森本閑選手，家門俊平選手，周佩芳老師が模範演技を行った。午後の競技と表彰式の終了後，ファイナルアトラクション「みなと群舞」と「焼津太鼓」が大会の最後を盛り上げた。

最高齢者賞は男子88歳・女子78歳

最高齢チームの平均年齢72・8歳

表彰式では優勝，準優勝，第3位のチームに賞状・トロフィーが，選手にはメダルが贈られた。また上位入賞チームの選手には優秀賞が，参加者全員に参加賞が贈られた。

最高齢者・高齢者・最高齢チーム賞は次の通り。【最高齢者賞】男子＝長倉英吾（88歳・静岡県Yチーム），女子＝鈴木マサ子（78歳・静岡市Bチーム），【高齢者賞】男子＝小松勝（80歳・大阪市），牧野節夫（77歳・東京都），黒川清平（77歳・横浜市），女子＝青木フク（78歳・埼玉県），亀山克子（78歳・香川県），佐々木美智江（77歳・京都府），【最高齢チーム賞】川崎市チーム（平均年齢72・8歳）

来年のねんりんピックは茨城県

11月11日に取手市で開催へ

来年の「ねんりんピック」は茨城県・取手市で11月11日（日）に開催が決定している。全国各都道府県では次期大会の代表選抜が順次行われ，主管団体の茨城県連盟（佐伯弘治会長）では本格的な準備が進められている。

大会審判員

- ・ 総審判長 友正 慧
- ・ 副審判長 辻本三郎丸
- ・ 審判長 高山恵靖子
- ・ 執行審判員 潮田 強，石川佐奈江
林 信之，矢島孝一郎
渡部 健一